



理由が分かるように書こう

「どこがどのよう  
いいのかわかる  
感想を書く」

付箋の  
モデル

- ・黄 (教科書の工夫)
- ・ピンク (教科書の工夫)
- ・みどり (ほめたいこと)

文章を読み合って、みんなのくふうしているところを見付けよう

理由を表す文章のはじめ

- ・一つ目 二つ目 三つ目
- ・まず 次に そして

理由を表すときに使う言葉

- ・なぜなら
- ・だから
- ・ので

文章の組み立て

- ・考えと理由を分けて書く
- ・だん落に分けて書く

「考え」↓「理由」↓「考え」

「理由」↓「考え」

「考え」↓「理由」

よびかけ

「〜しましょう」

### 1 指導内容（新学習指導要領解説編から）

小学校国語科編より

書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

### 2 本時のねらい

説明する文章を書くときに使う言葉や構成に着目し、互いに文章を読む活動を通して、感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。

### 3 「深い学び」の鍵となる「見方・考え方」を働かせるための発問の意図

**引** 【「見方・考え方」を引き出す発問】

文章を読み合う観点を見だし、見通しを持って読むことができるようにする。

**鍛** 【「見方・考え方」を鍛える発問】

友達の感想や発表を基に、これから自分が文章を書くときに取り入れたいことを考えることができるようにする。

### 4 「主体的な学び」・「対話的な学び」の重点

【主体的な学び】

文章を読み合う前に、感想の書かれた付箋を比較することで、文章を読み合う観点を明確にすることができるようにする。参考になるよい感想の付箋を見て、どのような感想を書けばよいのかを把握しながら見通しを持って読み合うようにする。

### 5 学習過程

段階	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 口評価の観点【評価方法】								
導入 5分	1 本時のめあてを知る T 今日みなさんが作った絵文字を説明する文章を読み合います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が準備した工夫点のよさが書いてある付箋（A）と感想のみ（B）の付箋を提示して、読み合う観点を明確にする。</li> <li>・付箋を提示することで、どのようなことを書けばよいか悩む児童にとって、参考となるようにする。</li> </ul> [付箋の例] <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td>でか りて やす い分 す。</td> <td>柄が 整理 したい 事</td> </tr> <tr> <td>(A)</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>た。 と思 いま し</td> <td>工 夫さ れて 良 い</td> </tr> <tr> <td>(B)</td> <td></td> </tr> </table>	でか りて やす い分 す。	柄が 整理 したい 事	(A)		た。 と思 いま し	工 夫さ れて 良 い	(B)	
	でか りて やす い分 す。		柄が 整理 したい 事							
	(A)									
た。 と思 いま し	工 夫さ れて 良 い									
(B)										
T <b>引</b> 【感想が書かれた付箋を提示して】 どのような書き表し方の工夫点を付箋に書いてもらったら参考になりますか。 [引④]										
C 1 「伝えたい〜」が書かれた付箋がいいと思います。どこが分かりやすいかを具体的に書いてあるからです。 C 2 「工夫されていて良い」はいいけど、どこが工夫されているか分かるのもっと参考になると思います。										
T 工夫点は具体的に書かれていることが大事ですね。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「分かりやすいね」「工夫されているね」だけではなく、より具体的に工夫点を書くことを確認する。</li> </ul>									

	<p>〈めあて〉 文章を読み合っ、みんなの工夫しているところを見付けよう</p> <p>T  自分の工夫点がどこかを書いてから友達に渡ししょう。</p> <p>C 3 僕は、考えと理由をしっかりと分けて書きました。 C 4 私は段落を「考え」「理由」「考え」の3つに工夫しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の工夫点を青の付箋に書かせて説明文に貼付させる。</li> </ul>								
<p>展開 30分</p>	<p>2 説明する文章を読み合い感想を書く</p> <p>T  友達の工夫点をたくさん見付けられるといいですね。読んだ後に感想を書いて伝えます。それでは、読みましょう。</p> <p>C 5 「～ので」を使っているから理由だと分かったよ。 C 6 自分の考えをはっきりと「～考えました」と書いているのがいいね。 C 7 呼びかけがあるから、自分もやってみようと思った。</p> <p>3 自分の文章のよいところをまとめる</p> <p>C 8 理由を「1つ目」「2つ目」を使って書き、段落も分かれていたのが分かりやすかった。 C 9 「まず」「次に」「そして」や「～ので」という言葉を使って理由を書いていたところがいい工夫だった。</p> <p>4 全体で共有する</p> <p>T  よかったところや工夫しているところを発表しましょう。</p> <p>C 10 理由が3つあるから「1つ目」「2つ目」「3つ目」の言葉を使って書き、段落も分けて書いていたのがよかったところです。 C 11 私が工夫したところは、絵文字を考えたときの順番も伝えたかったので、「まず」「次に」「最後に」という言葉を使って表したところです。 C 12 理由を表すのに「なぜなら」や「だから」を使っていたところです。 C 13 私が工夫したところは、最後に「～しましょう」と呼びかけたところです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のモデル文で学んだ工夫点はピンク、教科書のモデル文になかった工夫点は黄、ほめたいこと（文字がとてもしきれい等）は緑の付箋に書くよう指示する。</li> <li>一色だけの付箋にならないよう声掛けする。</li> <li>3人1組で読み合う。</li> <li>付箋に感想を書き、ワークシートに付箋を貼付しながら回覧する。 〔ワークシートの例〕</li> </ul> <table border="1" data-bbox="986 875 1449 1104"> <tr> <td rowspan="3">た ら 友 達 の く ふ う か た こ と</td> <td>付箋</td> <td>付箋</td> <td rowspan="3">文 の よ い と こ ろ  (名前)のせつ明</td> </tr> <tr> <td>付箋</td> <td>付箋</td> </tr> <tr> <td>付箋</td> <td>付箋</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>工夫点のよさとして付箋に書かれた感想を共有する。その中で特に言葉に着目した感想を取り上げ、その言葉の意味を問い直して、言葉の意味や使い方の理解を深められるようにする。</li> <li>理由が複数ある場合の表現の工夫の仕方について捉えさせる。</li> <li>考えと理由を明確にし、整理して書くことを確認する。</li> <li>児童の言葉を使って気づきを板書する。</li> <li>教科書のモデル文になかった工夫点をも発表させる。</li> </ul> <p><b>書く能力</b> 文章を読む活動を通して、感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 【発表・ノート】</p>	た ら 友 達 の く ふ う か た こ と	付箋	付箋	文 の よ い と こ ろ  (名前)のせつ明	付箋	付箋	付箋	付箋
た ら 友 達 の く ふ う か た こ と	付箋	付箋		文 の よ い と こ ろ  (名前)のせつ明						
	付箋	付箋								
	付箋	付箋								
<p>終末 10分</p>	<p>5 本時の学習を振り返る</p> <p>T  友達の工夫から自分に取り入れたいことは何でしょう。 <b>鍛</b> (ワークシートに書きましょう。) [鍛①]</p> <p>C 14 考えと理由を書くときは、しっかりと分けて順序よく書いていきたいです。 C 15 今度理由を説明する文章を書くときは、A君が書いていたように、「なぜなら～だからです。」と分かりやすく書いてみたいと思いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの「友達の工夫から新しく分かったこと」の部分にまとめるよう指示する。</li> </ul>								